

2023年2月期 1Q 決算説明資料

株式会社エスエルディー
(3223)



目次

1. 第1四半期の業績

2. 第1四半期のトピックス

1. 第1四半期の業績

1. 第1四半期 決算概況

売上高 732百万円

(前年同期 539百万円)

営業利益 ▲ 88百万円

(前年同期 ▲ 210百万円)

経常利益 ▲ 40百万円

(前年同期 14百万円)

当期純利益 ▲ 41百万円

(前年同期 12百万円)

2. 第1四半期の業績概要（累計期間）

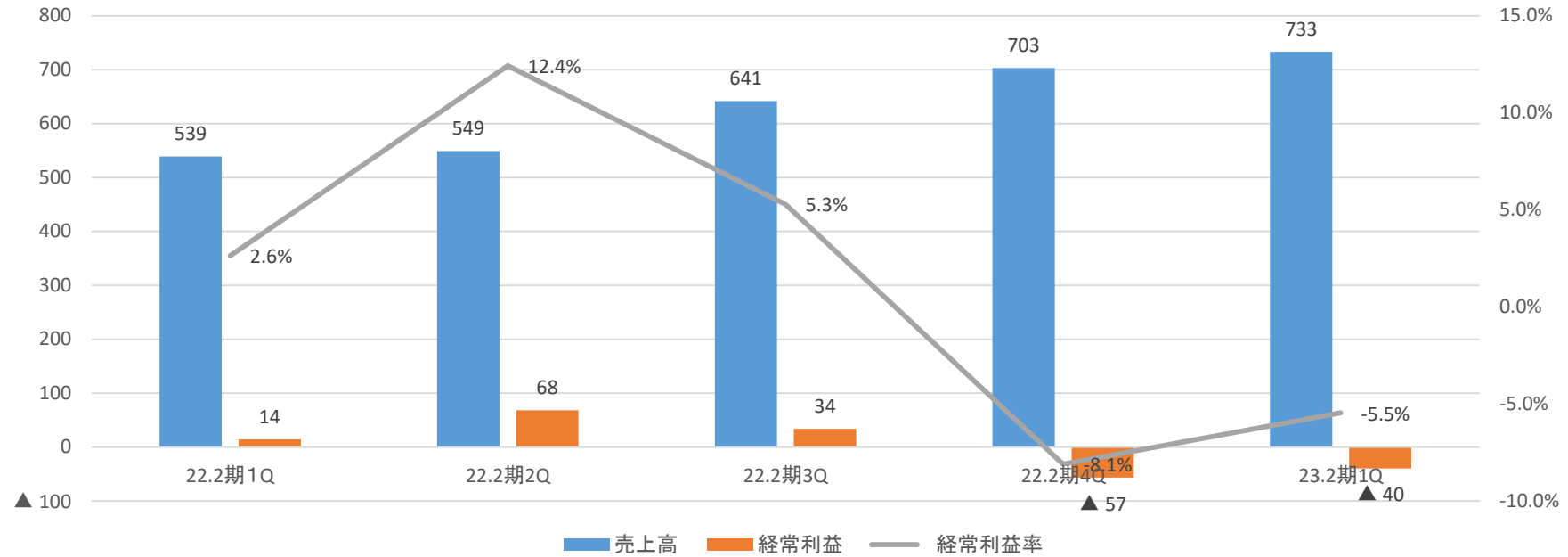
（単位：百万円）

項目	2022年2月期 1Q	2023年2月期 1Q	コメント
売上高	539	732	2022年3月までまん延防止等重点措置による営業時間の短縮の実施や、その後も東京都でリバウンド警戒期間となったものの、売上高は増加傾向となりました。（注1）
売上原価	146 (27.2%)	164 (22.4%)	
売上総利益	392 (72.8%)	567 (77.5%)	
販売費及び一般管理費	602 (111.8%)	656 (89.6%)	売上高増加に伴う費用増
営業利益	▲ 210 (-)	▲ 88 (-)	前年同期に比べ、損失額は減少
経常利益	14 (2.6%)	▲ 40 (-)	新型コロナウイルス感染症に係る感染拡大防止協力金46百万円を営業外収入に計上
四半期純利益	12 (2.3%)	▲ 41 (-)	

（注1）当第1四半期会計期間より、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を当期首から適用しており、当四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となったことから、前年同四半期に対する増減率は記載しておりません。

3. 四半期の業績推移

(単位：百万円)



科目	22.2期1Q	22.2期2Q	22.2期3Q	22.2期4Q	23.2期1Q
売上高	539	549	641	703	733
売上原価	147	160	172	189	165
売上総利益	393	389	469	514	568
販管費	603	588	605	656	657
営業利益	▲ 210	▲ 199	▲ 135	▲ 142	▲ 89
経常利益	14	68	34	▲ 57	▲ 40
純利益	13	67	33	▲ 98	▲ 41
EBITDA	▲ 198	▲ 194	▲ 130	▲ 136	▲ 37

(注1) EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

(注2) 端数は四捨五入しております。

4. サービス別業績概要（累計期間）

（単位：百万円）

項目	売上高		本社費等配賦前営業利益	
	2023.2期1Q	構成比	2023.2期1Q	構成比
飲食サービス	534	72.9	▲ 12	-
コンテンツ企画サービス	198	27.1	9	-
計	732	100.0	▲ 3	-

（注）当第1四半期会計期間より、コラボサービスを飲食サービスからコンテンツ企画サービスへ変更したことに加え、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を、当期首から適用しており、当四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となったことから、前年同四半期の数値および増減率は記載しておりません。

5. 販売費及び一般管理費 内訳

(単位：百万円)

項目		2022年2月期 1Q (累計)	2023年2月期 1Q (累計)
販管費		602	656
店舗	人件費	274	306
	経費	250	266
本社	人件費	46	50
	本社関連費用	7	5
	その他	24	29

6. 貸借対照表

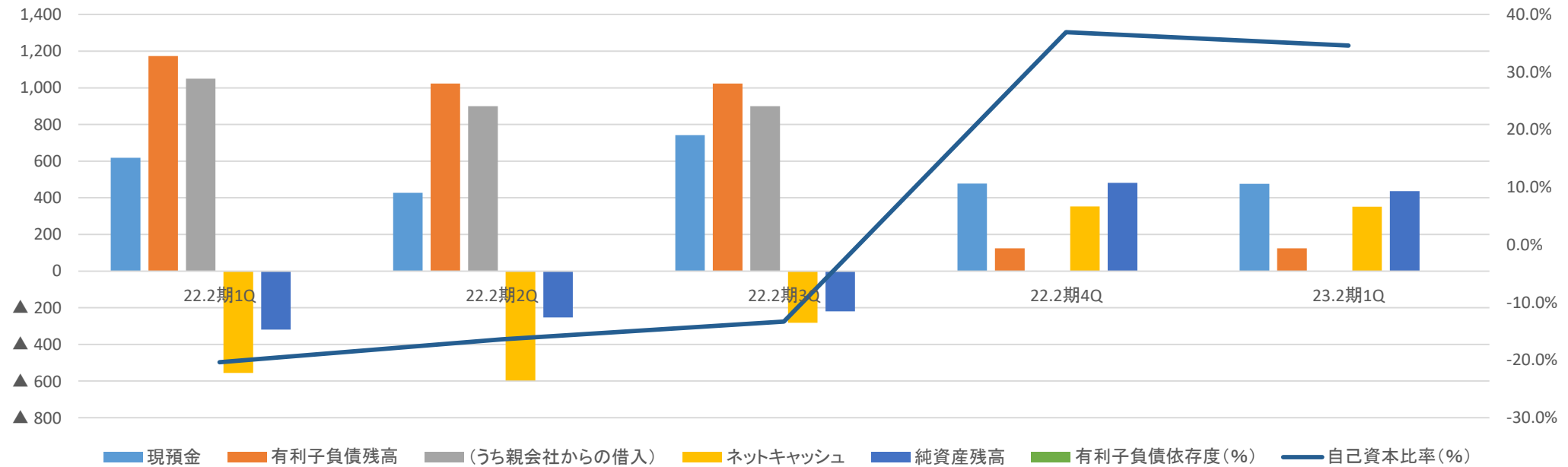
(単位：百万円)

項目	2022年2月期 期末	2023年2月期 1Q
流動資産	899	873
うち現預金	477	476
固定資産	378	374
有形固定資産	87	84
無形固定資産	1	1
投資	289	288
繰延資産		14
資産合計	1,294	1,263

項目	2022年2月期 期末	2023年2月期 1Q
流動負債	616	628
固定負債	196	197
純資産	481	437
株主資本	478	436
新株予約権	2	1
負債・純資産合計	1,294	1,263

7. 財務状況 四半期推移

(単位：百万円)



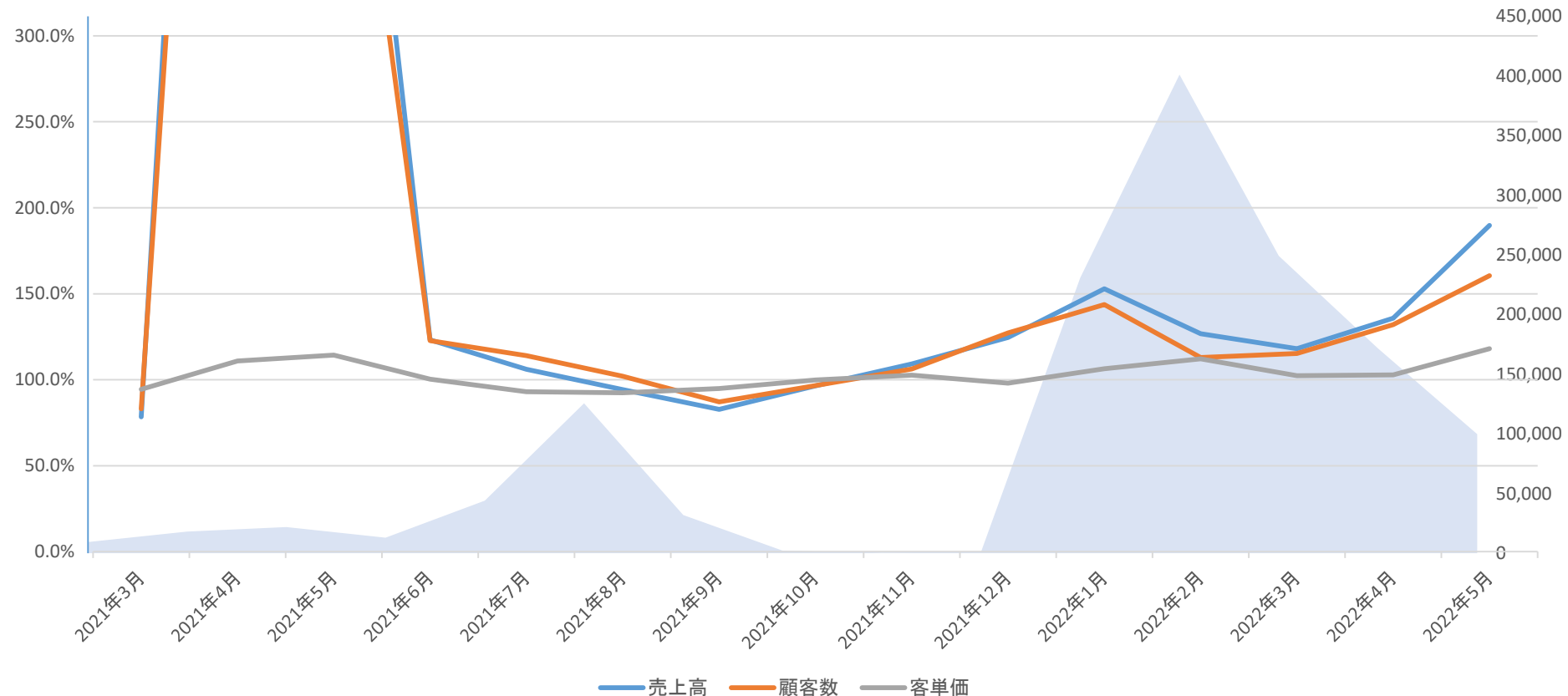
	22.2期1Q	22.2期2Q	22.2期3Q	22.2期4Q	23.2期1Q
現預金	618	427	742	477	476
有利子負債残高	1,174	1,024	1,024	124	124
(うち親会社からの借入)	1,050	900	900	0	0
ネットキャッシュ	▲ 556	▲ 597	▲ 282	353	352
純資産残高	▲ 320	▲ 253	▲ 220	481	437
有利子負債依存度 (%)	74.1%	65.5%	61.1%	9.6%	9.8%
自己資本比率 (%)	-20.4%	-16.4%	-13.3%	36.9%	34.6%

(※ 1) 有利子負債残高 = 短期及び長期借入金の合計額

(※ 2) 有利子負債依存度 = 総資産に占める有利子負債の比率

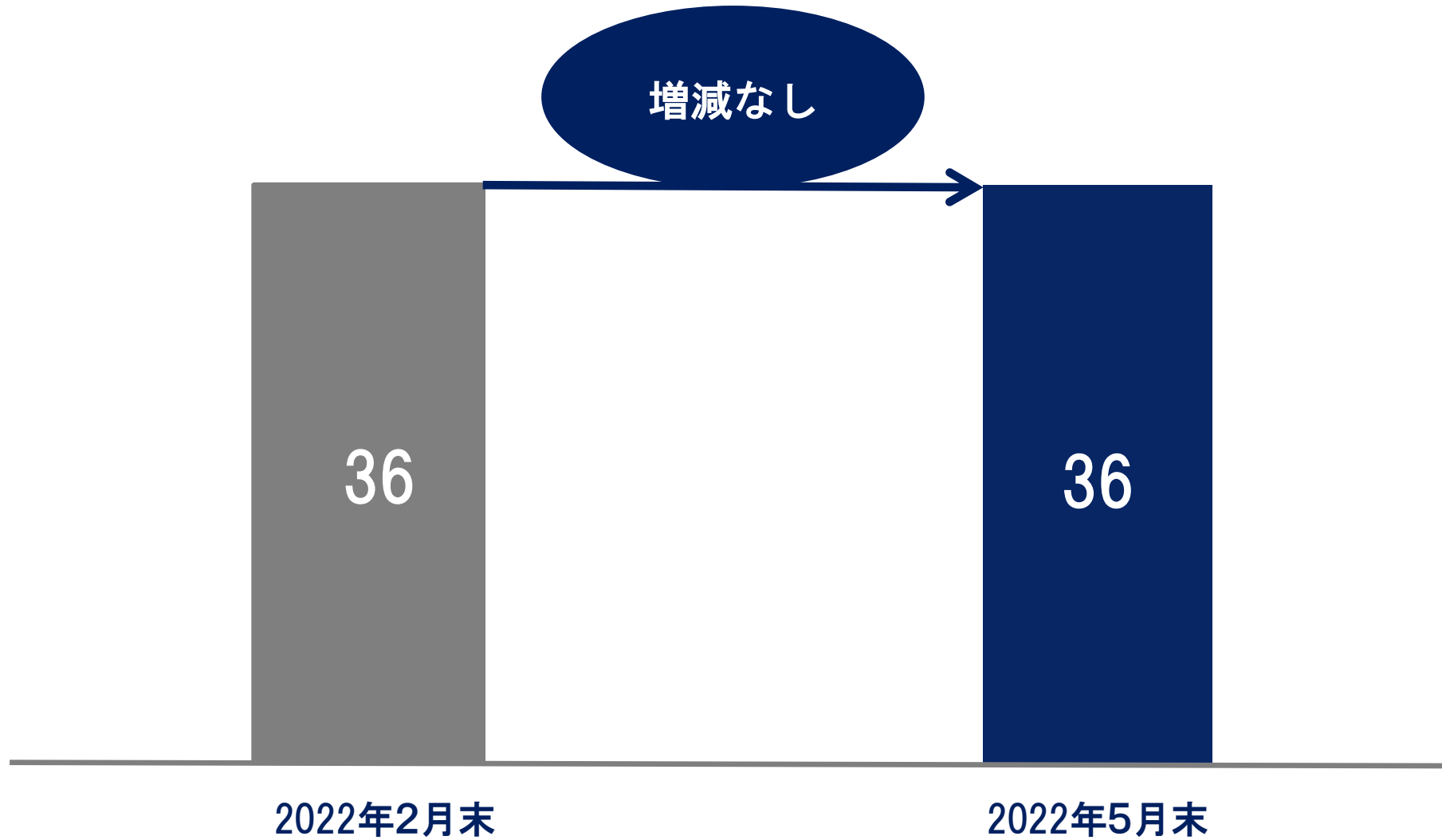
8. 月次売上高・顧客数・単価の推移（飲食サービス、既存店舗、前年同月比）

左軸：前年同月比（%）、右軸：コロナ陽性者数（東京都）（人）



前年対比（単月）			
対象月	売上高	顧客数	客単価
2021年3月	78.5%	83.1%	94.4%
2021年4月	1022.5%	921.4%	111.0%
2021年5月	618.4%	540.9%	114.3%
2021年6月	123.2%	122.8%	100.3%
2021年7月	106.1%	114.1%	93.0%
2021年8月	94.3%	102.0%	92.4%
2021年9月	82.7%	87.1%	95.0%
2021年10月	96.5%	96.5%	99.9%
2021年11月	109.2%	106.3%	102.7%
2021年12月	124.5%	127.2%	97.9%
2022年1月	152.9%	143.7%	106.4%
2022年2月	126.7%	113.0%	112.1%
2022年3月	118.1%	115.3%	102.4%
2022年4月	135.8%	132.1%	102.8%
2022年5月	189.7%	160.5%	118.1%

9. 直営店舗数の推移



2. 第一四半期のトピックス

2023年2月期 第1四半期のトピックス

① 飲食サービスの強化

② コンテンツ企画サービスの強化

③ 上場廃止基準に係る猶予期間銘柄の解除

④ コロナウィルス感染症対策

1-①. 飲食サービスの強化

- テラスでのバーベキュープランを、以下2店舗で販売開始
- キコリ食堂は、ゴールデンウィーク期間中、最高売上高を達成

▼2022年 テラスバーベキュープラン開始



海沿いのキコリ食堂



kawara CAFE&DINING 錦糸町店

▼ 販売好調なキコリ食堂（鎌倉、材木座）



1-②. 飲食サービスの強化

季節の食材を利用したおすすめスイーツを店舗で販売開始



2-①. コンテンツ企画サービスの強化

『#コンパスカフェin 池袋』に続き、大阪・心斎橋にて、『#コンパスカフェin 大阪』のプロデュース及び運営に係る業務を、NHN PlayArt株式会社様から受託し、2022年3月から営業開始しました。



2-②. コンテンツ企画サービスの強化

駅、商業施設にて、弊社の強みを活かした催事販売を拡大しております。

これまでの開催事例

- 3/18～3/27 アリオ橋本
- 3/28～3/30 ルミネ大船
- 4/1～4/13 錦糸町PARCO
- 4/23～5/8 キリナ京王吉祥寺
- 5/17～5/25 ルミネ横浜



3. 上場廃止基準に係る猶予期間銘柄の解除

【これまでの経緯】

- 2021年2月期決算において債務超過となり、株式会社東京証券取引所における上場廃止基準に係る猶予期間銘柄となりました。
- 2022年2月28日
同年1月24日に、第三者割当による種類株式の発行（デット・エクイティ・スワップ）、定款の一部変更並びに資本金及び資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分に関するお知らせ」にて公表しましたとおり、「第三者割当による種類株式の発行（デット・エクイティ・スワップ）」を実施しました。

【猶予期間銘柄の解除】

- 2022年5月27日
有価証券報告書を関東財務局に提出し、2022年2月期において債務超過を解消したことにより、猶予期間銘柄から解除されました。

引き続き経営体制及び営業体制の効率化と強化を図り、当社事業の改善及び拡大を行ってまいります。

4. 新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルスに対して
当店の対応

密閉しない
適時換気を行っております

密集しない
席間隔を空けております
席数を減らしております

密接しない
席数に対する来客上限を
設けてご案内しております

その他

従業員の検温、手洗いと
アルコール消毒を徹底しております

店内の清掃、調理器具・食器等の
洗浄を徹底しております

お客様にもアルコール消毒の
ご協力をお願いしております

入口にて検温のご協力
をお願いしております

《新型コロナウイルス感染症対策》

◆ 従業員の対策

- ・従業員の体調管理
- ・従業員のマスク着用義務化
- ・キッチン、バーの従事者は手袋着用義務化 等

◆ 店内環境の対策

- ・3密対策（定期的な換気、開閉可能な窓や扉の開放、席間隔の確保）
- ・エントランスに消毒用アルコールの設置

◆ お客様への対応

- ・入店時に検温とアルコール消毒のお願い
- ・マスク着用をお願い

本資料は、株式会社エスエルディー（以下、当社）の事業及び業界動向に加えて、当社による現在の予定、推定、見込みまたは予想に基づいた将来の展望についても言及しております。

本資料に記載された内容は、本資料の作成時点において一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

本資料において提供される情報は、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的に当該情報とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

本資料における将来の展望に関する表明は、今後の将来の出来事や状況を反映して、将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新・変更するものではなく、また、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本資料の更新・変更をおこなう義務を負うものではありません。

本資料は投資家の参考に資するため、当社の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものであり、当社株式の購入を勧誘するものではありません。